



折原小学校卒業生に 手づくりひょうたん



わたしの好きな寄居
No.262

3月に折原小学校を卒業した6年生18人に、卒業記念として手づくりのひょうたんが贈られました。贈ったのは、スクールガードリーダーとして、毎日の登下校を見守っている保泉さん（立原）です。

贈られたひょうたんは、直径10～15cm程度の千成ひょうたんで、卒業生一人一人の顔と名前、卒業年度等が彫られています。毎日児童たちを見守っている保泉さんだからこそ作れる、世界で一つのオリジナルひょうたんです。

保泉さんは「ももとは折原小学校の校舎の日よけに植えられていたひょうたんを見たときに、卒業生に贈ることを考えつきました。春に種をまくことから始め、収穫・乾燥させ、彫る作業まですべて自分で行き、完成まで1年がかりです。折原小学校を卒業しても、ここで過ごした6年間の思い出を大切にしてほしい。そんな思いを込めて児童たちに贈っています。平成26年度に始めて今年で4年目になりますが、今後もできる限り続けていきたいと思っています」と話してくれました。

「中学へ行っても折原小で学んだことを忘れずに頑張ってください」
激励の言葉と一緒に、保泉さんから一人一人にひょうたんが手渡されました。



「ひょうたんと一緒に撮って！自分の顔にそっくりでうれしい」とカメラの前集まってくれた児童たち。みんないい笑顔です。

親子 De 笑顔

子育て支援施設を利用された皆さんを中心に紹介しています。



松村 洋輔さん・千恵さん・穂丹ちゃん(5歳4カ月)・暦生ちゃん(1歳5カ月)

☺子育てのポリシー

あいさつや言葉づかいなどの礼儀作法をきちんとできる子どもに育ててほしいと思っています。そのために、手本となるように心掛けて努力していかねばならないと思っています。

☺お子さんが夢中になっていること

姉妹ともお友達と遊ぶことが大好きで、支援センターや公園に行くと楽しそうに過ごしています。家では姉が歌い、妹がその姉に合わせ踊ったり、姉がモノマネをするのを、妹がまねしたりしています。



清水 香さん・宏太くん(3歳2カ月)

☺子育てのポリシー

家族と仲良く楽しい時間を過ごす中で、のびのびと明るく成長してほしいと思っています。また、いろいろな経験を通して気持ちを共有し、人の気持ちが分かる優しい心も育んでいきたいです。

☺お子さんが夢中になっていること

体を動かすことが好きで、外遊びではストライダーやサッカーでよく遊んでいます。お気に入りの歌は何度も聴いて覚え、毎日元気な歌声が家中に響いています。